

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 540203	家庭用蓄電システム普及促進事業費				主管課名	環境課				
	この事務事業 の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境				課長名	小野田 幸男				
		施策	環境と人にやさしいまち									
		基本事業	自然・新エネルギーの導入									
	(1) 事業の概要											
	【補助対象】自ら居住する住宅に蓄電システムを設置する者 【補助対象商品】定置用リチウムイオン蓄電システム 【補助率】一律10万円 【補助件数】10件					(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単位				
						補助金額		千円				
						その指標						
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		家庭用蓄電システムを設置した個人に対して設置費用の一部を補助する									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2) 対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市内に自ら居住する戸建住宅を所有する人					名 称		単位					
					戸建持家世帯数							
(3) 意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7) 成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
家庭用蓄電システムを設置してもらう					名 称		単位					
					家庭用蓄電システム設置累計世帯数		世帯					
					補助件数		件					
(4) 結果(上位基本事業の意図)					(8) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
温室効果ガスの排出削減					名 称		単位					
					温室効果ガス累計削減量		t-co2					
(9) 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の 活動指標		千円		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
(6)の 対象指標				15,009	15,100	15,200	15,300	15,400				
(7)の 成果指標		世帯		10	20	30	40	50				
		件		10	20	30	40	50				
(8)の結果の 成果指標		t-co2		16	32	48	64	80				
(10) 予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
(11) コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0				
人件費 B		千円	0	601	601	601	601	601				
正職員従事時間×人数		時間×人	x	54 x 3	54 x 3	54 x 3	54 x 3	54 x 3				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用 C		千円	0	0	0	0	0	0				
トータルコストA+B+C		千円	0	1,601	1,601	1,601	1,601	1,601				
単位あたりコスト		千円/		0	0	0	0	0				
(トータルコスト		千円/										
/(6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	540203	家庭用蓄電システム普及促進事業費
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成25年度			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
地球温暖化防止対策の一環として開発された家庭用蓄電システムの普及をねらい開始した				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない				
変化している				
変化し太陽光発電システムとの併用で普及が進んで内容				
変化している				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市家庭用蓄電システム普及促進事業補助金交付要綱
						地球温暖化対策に寄与する
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
					拡大	
					縮小	
(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容			
	できない	→				
					追加	
			拡充			
			絞込み			
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容	設置台数は今後増加することが考えられるため、廃止については地球温暖化抑制を阻害する恐れがあるため		
	多少影響がある	→				
	影響はない	→				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	平成25年度から導入した補助制度であり、今後の動静を見極めたい		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある		
	ない	→			類似事業との再編の可能性	ない
			庁内事業			
			庁外事業			
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
					現状で適正	
			検討が必要			
			受益者がいない			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成25年度より当該システム設置補助を開始。温室効果ガスの抑制のため必要であり、今後も継続していく。					